

部 局	豊中市伊丹市クリーンランド事務局	補 職	事務局長	氏 名	加嶋 隆
-----	------------------	-----	------	-----	------

1. 部局の使命

豊中市伊丹市クリーンランドは「森の中の再生工場」として、廃棄物の適正な処理と再資源化を通じて、循環型社会の構築と持続可能な社会の実現に貢献します。

2. 使命を遂行するための取組み方針と、それに基づく取組みの総括

方針	取組みの総括
（１）ごみ焼却施設、リサイクルプラザの基盤施設について、市民に信頼され、快適な暮らしを支える施設として安全で安心な稼働・運営を行います。 （２）市民、ＮＰＯ、両市の環境部門など多様な主体と連携・協働のもと、より効果的な学習メニューの提供を通し、廃棄物の発生抑制・再利用と質の高いリサイクルの推進及び市民との交流を深めます。 （３）危機事態発生時に迅速かつ的確に対応できるよう実践力の向上をめざし、災害時対応マニュアル、事業継続計画等に則して大規模災害時の初期対応のための研修や災害を想定した実践訓練などを行います。	（１）施設の安全で安心な稼働・運営 適切な運転管理と計画的な点検整備、維持補修によりトラブルなく施設を操業し、組合市（豊中市・伊丹市）からの一般廃棄物について、搬入、焼却、資源化など、中間処理施設として適切に処理できました。 また、ごみ焼却施設の定期補修工事を予定通り実施し、施設の機能と性能の維持を図り、長寿命化につなげました。 （２）廃棄物の発生抑制・再利用と質の高いリサイクルの推進、市民との交流 循環型社会の実現が課題となる中、ごみの発生抑制・再利用・資源化等の環境意識を高める効果的なプログラムを企画、実施しました。 また、市民に開かれた施設として、地域の交流の場である「クリーンランドひろば」において様々な啓発イベントや交流イベントを開催しました。 （３）危機事態発生時に迅速かつ的確に対応できる実践力の向上 地震や風水害などの災害発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、防災研修や行動マニュアルに基づく実動訓練、全職員参加型の「総合防災訓練」を実施しました。 また、昨年3月に発生したピット火災の事案を踏まえ、消火用設備の改良を行うとともに、火災発生時の円滑な消防隊の受入れ体制を整備し、対応力を強化しました。

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	ごみ焼却施設の安定稼働と効率的な運営【重点】	(1) 施設の運転管理と点検整備・維持補修 ①日常点検の実施と施設の適正な維持・管理 ②計画的な補修工事の実施 * 1号炉【4月14日～5月26日】 * 2号炉【6月16日～7月28日】 * 3号炉【9月22日～11月3日】 ③上記工事期間中の適正なごみ処理継続 ④トラブル時の迅速な対応 【運転停止ゼロ】 ⑤炉棟内(高所天井)LED照明機器への更新【4月・5月】	○施設稼働後10年が経過したことから、これまで以上に日々の点検を徹底し、異常が予見される場合は速やかに対処する必要があります。メンテナンス事業者との連携を密にし、引き続き施設の安定稼働に取り組みます。 ○また、長寿命化計画に基づく定期補修工事を着実に実施し、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を目指します。 ○発電については、ごみ搬入量の減少が続く中、売電収入の安定的確保が課題となっています。安定した収益確保につながるよう効率的な運転に努めます。
	(1) 施設の適切な運転管理と計画的な点検整備・維持補修に取り組みます。 ①日常点検の実施と施設の適正な維持・管理【随時】 ②計画的な補修工事の実施【拡充】 * 1号炉【4月14日～5月26日】 * 2号炉【6月16日～7月28日】 * 3号炉【9月22日～11月3日】 ③上記工事期間中の適正なごみ処理の継続【②と同期間】 ④トラブル時の迅速な対応【目標：焼却炉停止ゼロ】 ⑤施設内(高所天井)LED照明機器への更新【新規】【随時】	(2) 電力への再生 ①高効率な発電機能の維持 【発電効率19.8% 売電収入9.5億円】 ②電力の地産地消の推進 * 両市小学校等公共施設への供給 【提供施設数：98施設】 * FIT電力の供給開始【4月～】	
	(2) ごみ焼却時に発生する熱エネルギーの電力への再生に取り組みます。 ①高効率な発電機能の維持 【目標：発電効率20%以上、売電収入8億円以上】 ②電力の地産地消の推進 * 両市小学校等公共施設への供給(非FIT電力)【通年】 * FIT電力の供給の開始【新規】【通年】	(3) 有害物質等の抑制 ①公害防止設備の日常点検・整備の実施 ②的確な管理薬剤投入等による発生物の抑制 ③モニタリングの実施と測定結果の公開 【排出基準超過ナシ】	
	(3) ごみ処理過程で発生する有害物質等の抑制に取り組みます。 ①公害防止設備の日常点検・整備の実施【随時】 ②的確な管理薬剤投入等による発生物の抑制【随時】 ③モニタリングの実施と測定結果の公開【随時】		
総合計画			
3-2- (2)	循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
基本政策			
34	ゼロカーボンシティの実現		

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	リサイクルプラザの安定稼働と効率的な運営【重点】		(1) 施設の運転管理と点検整備・維持補修に取り組みます。 ①日常点検の実施と施設の適正な維持・管理 ②委託事業者との連絡調整会議の開催 ③委託事業者を通じた施設の運営状況の把握と課題への対応 ④トラブル時の迅速な対応 【発火事案による機器停止:72時間／年】 ⑤火災発生時の初期消火への対応検証 (2) 品目ごとの搬入物の実態に応じた、効率的で高品質な再資源化を進めます。 ①ペットボトルの水平リサイクルの推進 【搬出量:345 t／年】前年度比285% ②プラスチック全量リサイクルへの対応検討	○施設設置後14年が経過し、老朽化による影響も踏まえた施設の安定稼働が課題となります。また、リチウムイオン電池を起因とする発火事案にも適切に対処していかなければなりません。 ○長寿命化計画に基づく補修工事を着実に実施し、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を目指します。 ○発火事案については、事案の減少に向けて、引き続き伊丹市へ小型家電等の収集方法の見直しについて働きかけるとともに、組合市と連携し効果的な適正分別の啓発に取り組みます。 ○また、初期消火体制の強化を図るため、委託事業者と課題や問題点を共有し、必要な支援を行いながら適切に対処していきます。 ○プラスチックの全量リサイクルに向けては、他団体の先行的な取組みや、実施に向けた両市の意向など幅広く調査し、引き続き検討を進めます。
	(1) 施設の適切な運転管理と定期的な点検整備・維持補修に取り組みます。 ①日常点検の実施と施設の適正な維持・管理（委託事業者による） ②委託事業者との連絡調整会議の開催【月1回】 ③委託事業者を通じた施設の運営状況の把握と課題への対応【随時】 ④トラブル時の迅速な対応 【目標：発火事案による機器停止時間100時間／年以内】			
	(2) 品目ごとの搬入物の実態に応じた、効率的で高品質な再資源化を進めます。 ①ペットボトルの水平リサイクルの推進 【目標：搬出予定量約350 t／年】 ※R 6 実績量 (121 t／年)			
総合計画				
	3-2- (2)	循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
基本政策				
	34	ゼロカーボンシティの実現		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	環境学習の推進と市民との交流の場の創出【重点】 (1) 施設の見学機能を活用した学習の拠点として、市民・事業者への環境学習・啓発に取り組みます。 ①施設見学の受入れ【随時】 ②リユース品の提供【随時】 ③出前講座の実施【随時】 ④市民講座、環境フォーラムの開催【月6回、年1回(3月)】 ⑤環境学習ガイドブックの作成(改訂)【3月】 ⑥委託団体との連絡調整会議の開催【月1回】 ⑦モニタリングを通じた運営状況の把握と課題への対応【随時】 ⑧施設見学機能の見直し、デジタル化の検討[新規] (2) 市民に開かれた施設として、折々に移ろう緑の中、市民が集い交流する場を創出します。 ①クリーンランドひろばを活用した市民との交流イベントの開催【適宜】 ②「ジョイントひろば」の開催【5月・10月】 ③クリーンランド展望フロア一般開放デーの開催【月1回】 ④上記開放デーに合わせたイベントの開催【適宜】 ⑤敷地内緑化の適正な維持管理(緑化推進による良好な環境保全)【通年】	(1) 市民・事業者への環境学習・啓発 ①施設見学の受入れ【年間受入数: 8,546人】 ②リユース品の提供 ③出前講座の実施【83回】 ④市民講座の開催【12回】 ⑤環境フォーラムの開催【3/17】 ⑥環境学習ガイドブックの改訂 ⑦委託団体との連絡調整会議の開催 ⑧モニタリングを通じた運営状況の把握と課題への対応 ⑨施設見学機能の見直し検討、映像設備改修 (2) 市民が集い交流する場の創出 ①クリーンランドひろばを活用した市民との交流イベントの開催 ②「ジョイントひろば」の開催【5/18・10/26】 ③クリーンランド展望フロア一般開放デーの開催 ④上記開放デーに合わせたイベントの開催 ⑤敷地内緑化の適正な維持管理 ⑥ひろばの有効活用検討	○環境学習事業については、時流に沿ったテーマを選定し、効果的に実施していく必要があります。施設見学者も含め来訪者が伸び悩む中、引き続き委託事業者と課題を共有し、集客力も意識した魅力的な事業を展開していきます。 ○また、見学エリアにおいては、機器の老朽化や展示内容の陳腐化に対応するため、引き続き改修の検討を進めます。 ○令和9年度に環境学習の委託事業者の更新を迎えることから、仕様の見直しなど次期事業者選定に向けた準備を進めます。 ○市民の憩い・交流の場である「クリーンランドひろば」については、集客力も意識した魅力的なイベントを企画・開催するとともに、平時のひろばの利活用について、組合市の公園担当からの助言も得ながら引き続き検討を進めます。
	総合計画		
	3-2- (2) 循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
	基本政策		
	34 ゼロカーボンシティの実現		

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	危機事態への実践力の向上		(1) 職員の実践力向上 ①「危機管理対策推進チーム」を中心とした体制整備 ②浸水防止止水板の設置研修【5月】 ③地震を想定した防災訓練【9月】 ④総合防災訓練【12月】 ⑤災害時対応マニュアル、業務継続計画の点検と見直し ⑥浸水防止止水板の設置研修【5月】 ⑦地震を想定した防災訓練【9月】 ⑧総合防災訓練【12月】 ⑨災害時対応マニュアル、業務継続計画の点検と見直し【適宜】 ⑩災害廃棄物の受入れ・処理対応の確認(訓練時に実施)【9月・12月】	○火災や地震時に職員が冷静に判断し行動できる実践的な訓練を継続して実施していきます。内容がマンネリ化しないよう、また職員の防災意識が低下しないよう内容を工夫しながら実施する必要があります。委託事業者など外部関係者と連携した複合型の訓練の実施についても内容を充実させ実施していきます。 ○火災発生時には初期消火の限界を十分に認識し、安全第一に消火活動にあたります。また、市消防隊の出動要請時には、消防隊の受入れや情報の引継ぎなど、円滑な連携と活動支援にあたります。
	(1) 危機事態発生時に迅速かつ的確に対応できる職員の実践力向上に取り組めます。			
	①「危機管理対策推進チーム」を中心とした人員体制の整備			
	②浸水防止止水板の設置研修【5月】			
総合計画				
	2-4- (1)	防災力の充実強化を図ります		
基本政策				
	26	強靱なまちづくりの推進		

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	人づくり・組織づくり		(1) 人づくりへの取組み ①「資格取得に係る人材育成計画」に基づく計画的な資格・免許の取得促進【適宜】 ②「技術検討部会」の開催【年2回】 ③職務面談等を通じた個々の職務目標に対する指導・助言【随時】 ④組織へのエンゲージメントの醸成 ・クリーンランドの使命や存在意義の共有【4月】 ・キャリア形成に向けた支援・助言【随時】 ⑤職員表彰の実施【年1回】	○熟練職員の高齢化が進んでおり、次世代のリーダーや技術職員の育成が課題となっています。定期的なジョブローテーションにより世代交代を進めるとともに、引き続きマニュアルの高度化（暗黙知の可視化）、OJTを通じた技術・技能の継承に取り組みます。 ○また、組織内のコミュニケーションを活性化させ、学びやすい環境を作るとともに、若手職員の精神的なサポートとキャリア相談に適切に対応します。
	(2) 組織づくりへの取組み ①朝礼・夕礼での情報共有と課題の確認【毎日】 ②調整会議＜管理職会議＞での情報共有と課題の確認【月1回】 ③「技術検討部会」の活動を通じた技術・技能の継承と向上【通年】		(2) 組織づくりへの取組み ①朝礼・夕礼での情報共有と課題の確認 ②調整会議＜管理職会議＞での情報共有と課題の確認 ③「技術検討部会」の活動を通じた技術・技能の継承	
	(3) 働き方の見直しと働きやすい職場づくり ①事務改善、業務改善への不断の取組みの推進【随時】 ②ノー残業デーの徹底【週1回】 ③計画的な休暇取得の推進 【年次有給休暇（夏季休暇含む）の取得：年18日以上】 ④意見が言いやすい職場環境の醸成【通年】 ⑤職員の労働安全の確保 ・労働安全衛生委員会の開催【月1回】		(3) 働き方の見直しと働きやすい職場づくり ①事務改善、業務改善への不断の取組みの推進 ②ノー残業デーの徹底 ③計画的な休暇取得の推進 ④意見が言いやすい職場環境の醸成 ⑤職員の労働安全の確保 ・安全衛生委員会での情報共有と対策の検討 ・職場巡視	
	総合計画			
	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策				
	65	職員力を高める人材育成等の推進		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	変革への取り組み (1) 市民生活を支える基盤施設として設備・建物の老朽化に適切に対応し、施設の機能保全と長寿命化に取り組みます。 ①日常点検・整備の着実な実施と大規模補修工事の計画的な実施【随時】※再掲 ②培った技術・技能の継承と向上(職員による自主補修の実施) ・「技術検討部会」の活動【通年】※再掲 ③環境学習の拠点としての機能充実の見直し ・「課題検討PT」(各課課長補佐で構成)での検討【通年】 (2) 中長期の財政支出を踏まえた自律的・効果的な施設運営に取り組みます。 ①高効率な発電機能の維持【目標：発電効率20%以上】※再掲 ②売電収入の確保【目標：8億円以上】※再掲 ③有価物売却収入の確保【随時】	(1) 施設の機能保全と長寿命化 ①日常点検・整備の着実な実施と定期補修工事の計画的な実施 ②培った技術・技能の継承と向上、職員による自主補修の実施 ・「技術検討部会」の活動 ③環境学習の拠点としての機能見直しの検討 ・「課題検討PT」の活動 ④プラスチック全量リサイクルへの対応検討 (2) 自律的・効果的な施設運営 ①高効率な発電機能の維持【発電効率19.8%】 ②売電収入の確保【9.5億円】前年度比99% ③有価物売却収入の確保【1.1億円】前年度比91%	○搬入量の減少により施設使用料や売電収入、資源売払い収入等の自主財源が減少する中、今後、定期補修工事費の増大が見込まれています。引き続き効率的・効果的な施設運営により財源の確保に努めるとともに、自主整備により補修工事費の圧縮に努めます。引き続き経費の縮減、適正化に取り組みます。 ○両市のし尿処理について、伊丹市の現処理施設が老朽化してきたことから、クリーンランドで新たに施設を整備し運営することが協議・検討されています。整備スケジュールを踏まえ、円滑に事務を引継ぎ、市民サービスに支障をきたさないよう対応していく必要があります。 ○プラスチックの全量リサイクルについては、両市の検討状況を注視し、情報連携を図りながら、引き続き調査・研究を進めます。
	総合計画		
	5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
	基本政策		
	69 創る改革を推進するための環境づくり		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
1	市民に信頼される基盤施設の安定稼働と効率的な運営 ○今後、両施設の老朽化への対応が課題となります。施設の機能保全と長寿命化をより意識した運営を行う必要があります。また、継続的な環境負荷低減への取組みとあわせて、財政負担も考慮した効率的・効果的な運営をめざします。		次の事項に継続して取り組みます。 ＊計画的な施設維持・整備 ＊自律的な施設運営（電力等売却収入の確保と補修工事費の低減等） ＊人材育成（職員の安全確包含む） ＊公害防止と環境負荷の低減（高効率発電の継続） ＊危機管理体制の強化	
	総合計画			
	3-2- (2)	循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
	基本政策			
	34	ゼロカーボンシティの実現		
2	市民に愛され親しまれる学びや交流の場の創出 ○環境学習の拠点として十数年が経過し、時代の変化とともに、ライフスタイルや世代に応じた環境プログラムを提供する必要があります。また、使用済み小型家電のリサイクルなど、両市と連携し更なる市民への呼びかけと啓発が必要となっています。 多様な主体との連携・協働のもと、より効果的な学習メニューの提供を通し、ごみの発生抑制と再利用、質の高いリサイクルの推進に取り組みます。 ○市民生活を支える基盤施設として安定した稼働を行うとともに、市民に開かれた施設として、緑あふれる憩いと交流の場を提供します。		次の事項に継続して取り組みます。 ＊両市との協働による啓発 ＊環境学習の充実 ＊緑あふれる憩いと交流の場づくり ＊クリーンランド展望フロアーの一般開放 ＊焼却施設モニタリング測定結果の公開	
	総合計画			
	3-2- (2)	循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
	基本政策			
	34	ゼロカーボンシティの実現		